

兵庫県内の市町財政の状況(令和元年度)

(1) 経常収支比率の状況

【資料1】令和元年度兵庫県内各市町の経常収支比率(単年度)の状況<地図>	109
【資料2】経常収支比率の対前年度比較	110

(2) 実質公債費比率の状況

【資料3】令和元年度兵庫県内各市町の実質公債費比率の状況<地図>	111
【資料4】実質公債費比率の対前年度比較	112

(3) 将来負担比率の状況

【資料5】令和元年度兵庫県内各市町の将来負担比率の状況<地図>	113
【資料6】将来負担比率の対前年度比較	114

(4) 税徴収率の状況

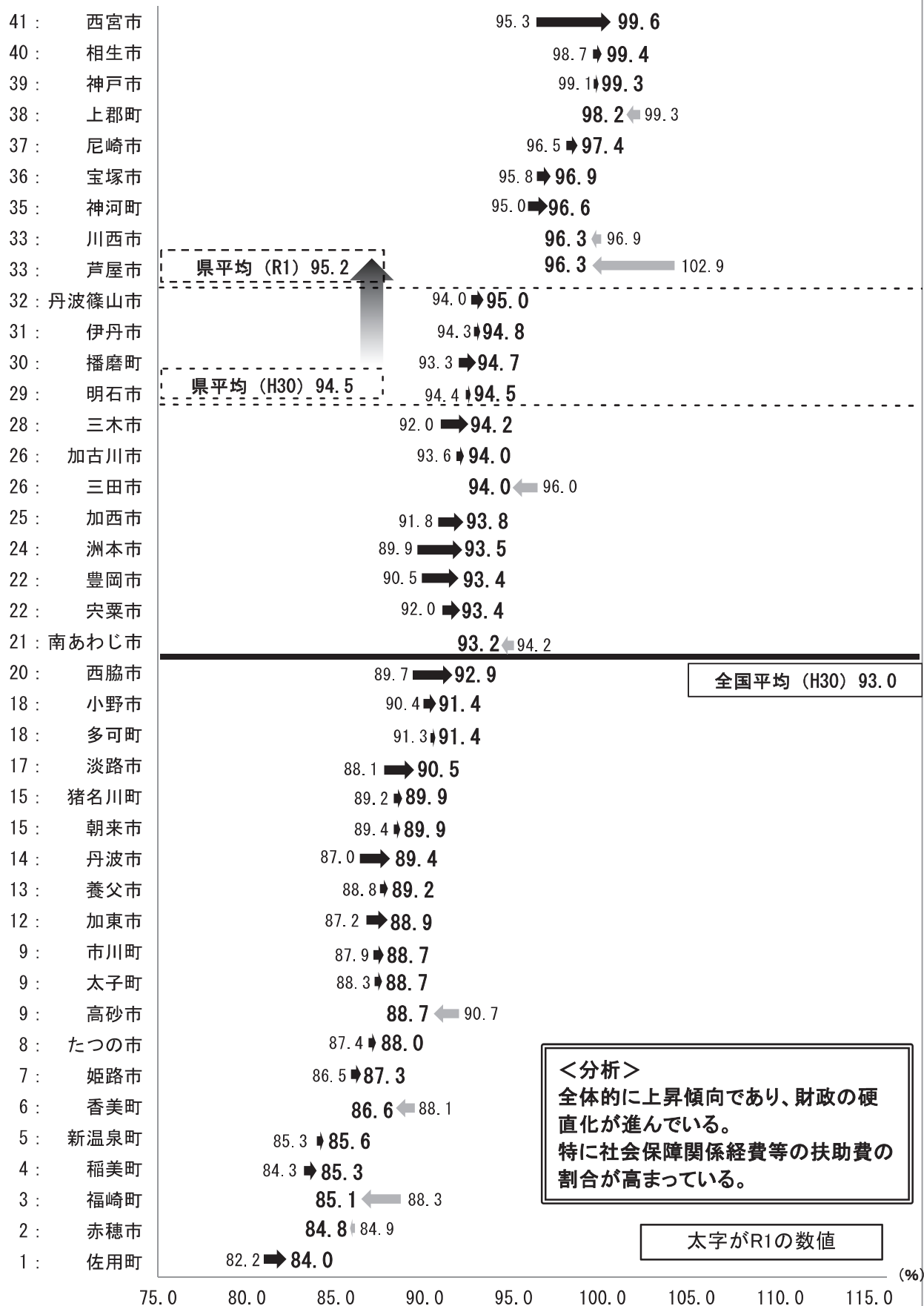
【資料7】令和元年度兵庫県内各市町の徴収率(個人住民税)の状況<地図>	115
【資料8】徴収率(個人住民税)の対前年度比較	116
【資料9】令和元年度兵庫県内各市町の徴収率(固定資産税)の状況<地図>	117
【資料10】徴収率(固定資産税)の対前年度比較	118
【資料11】令和元年度特別徴収実施率の状況<地図>	119
【資料12】特別徴収実施率の対前年度比較	120

兵庫県内の市町のラスパイレース指数(令和2年)

【参考資料①】令和2年兵庫県内各市町のラスパイレース指数の状況<地図>	121
【参考資料②】ラスパイレース指数の対前年比較(平成31-令和2年)	122

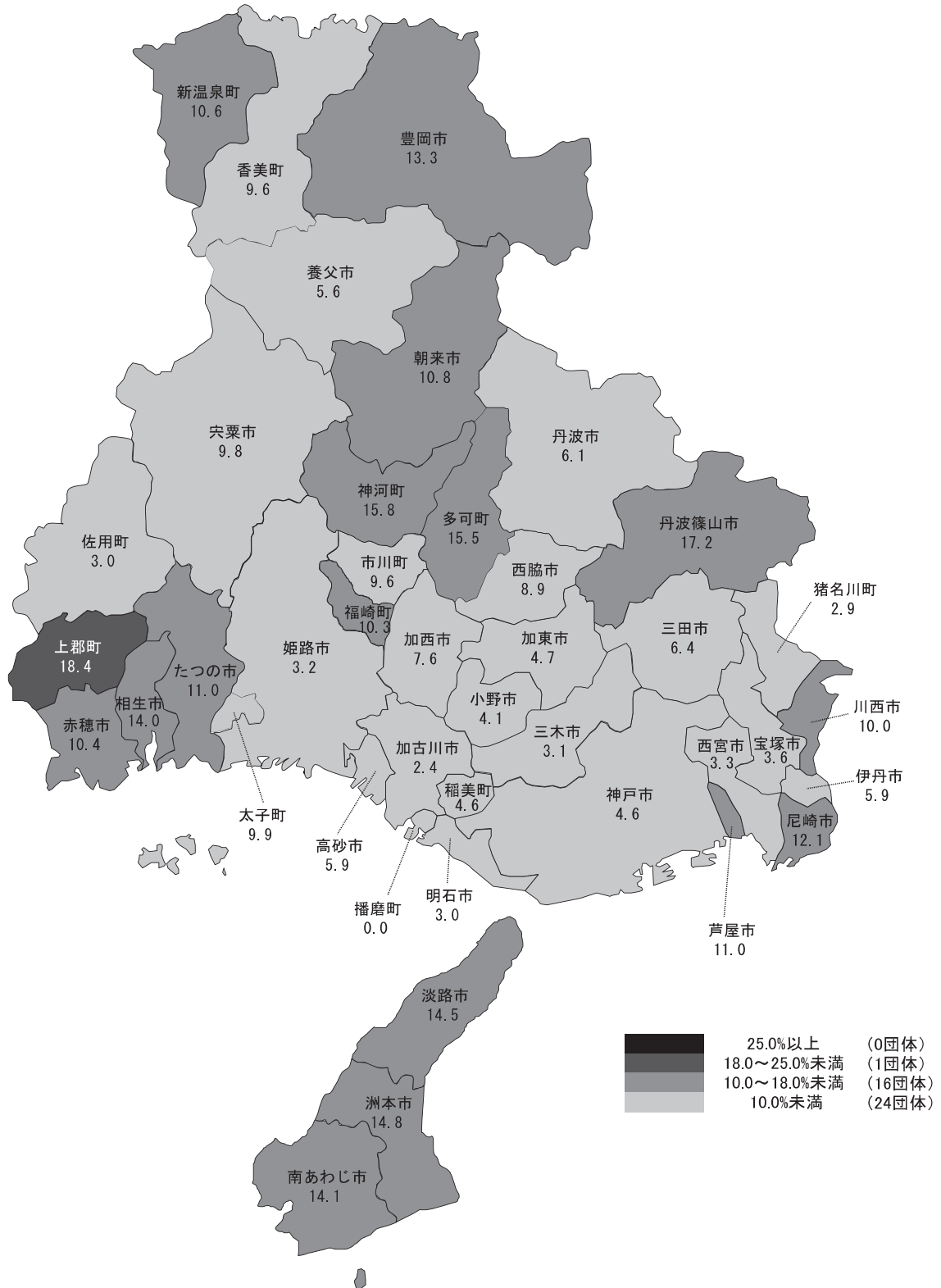
経常収支比率の対前年度比較

- 前年度から比率が増加したのは32団体、比率が減少したのは9団体。
- 最も減少したのは、市では芦屋市(▲6.6)、町では福崎町(▲3.2)。
- 最も増加したのは、市では西宮市(+4.3)、町では神河町(+1.6)。



令和元年度兵庫県内市町の実質公債費比率の状況

- 令和元年度の実質公債費比率の県内市町平均は6.3% (H30全国平均は6.1%)。
- 実質公債費比率が25%以上※1の団体はないが、18%以上※2の団体は、上郡町(18.4%)の1団体。
- 実質公債費比率が18%未満※3の団体は、40市町となった(丹波篠山市がR1から18%を下回った)。



※1 実質公債費比率が25%以上35%未満の地方公共団体は、早期健全化団体となり、財政健全化計画を策定し、その内容及び実施状況に応じて起債が許可される。

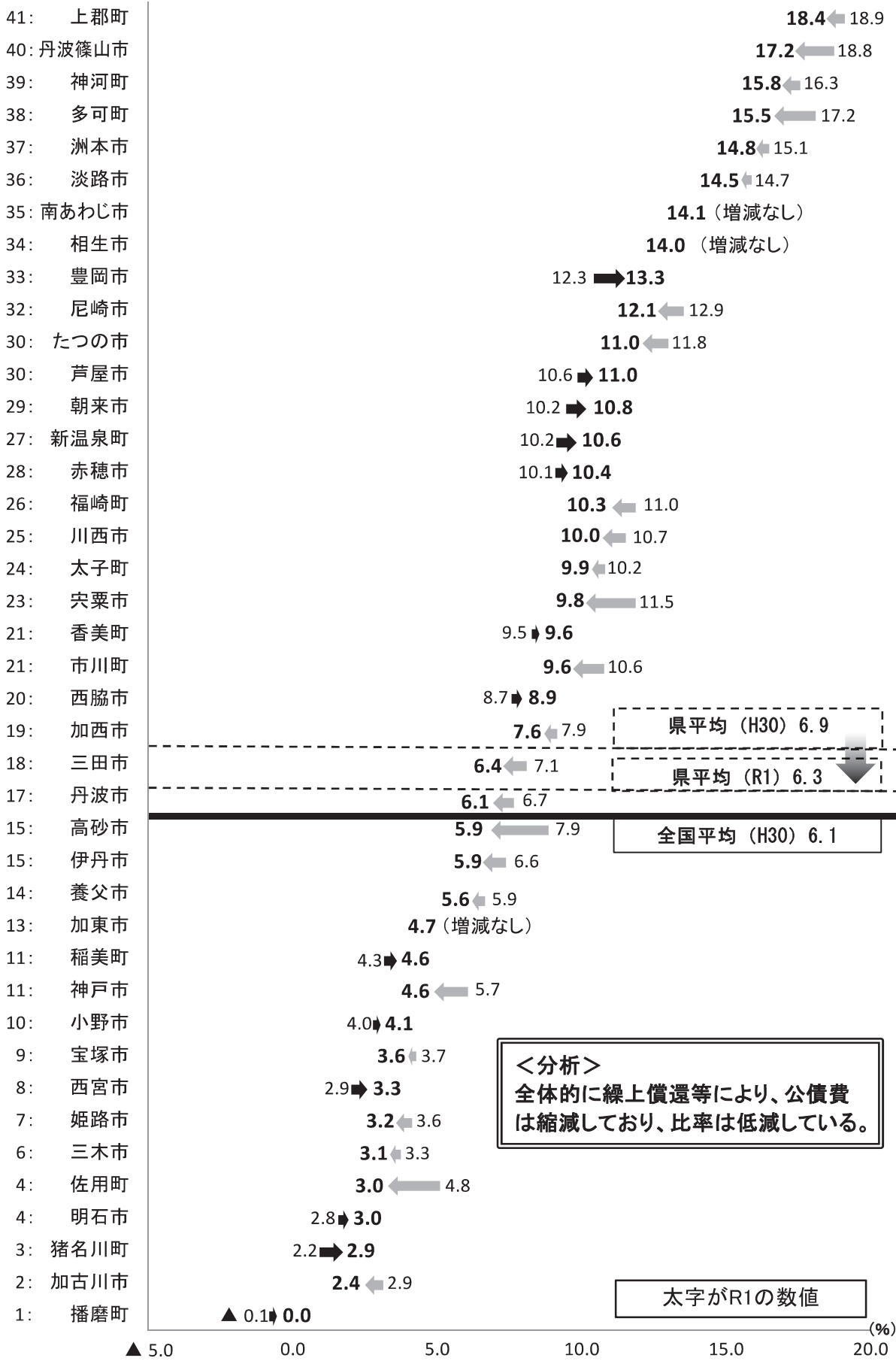
※2 実質公債費比率が18%以上25%未満の地方公共団体は、公債費負担適正化計画の内容及び実施状況に応じ、起債が許可される。

※3 実質公債費比率が18%未満(実質赤字額・連結実質赤字比率が0、将来負担比率350%以下等)の地方公共団体は、民間等資金の起債にあたり、原則として協議が不要となり、事前届出となる。

実質公債費比率の対前年度比較

【資料4】

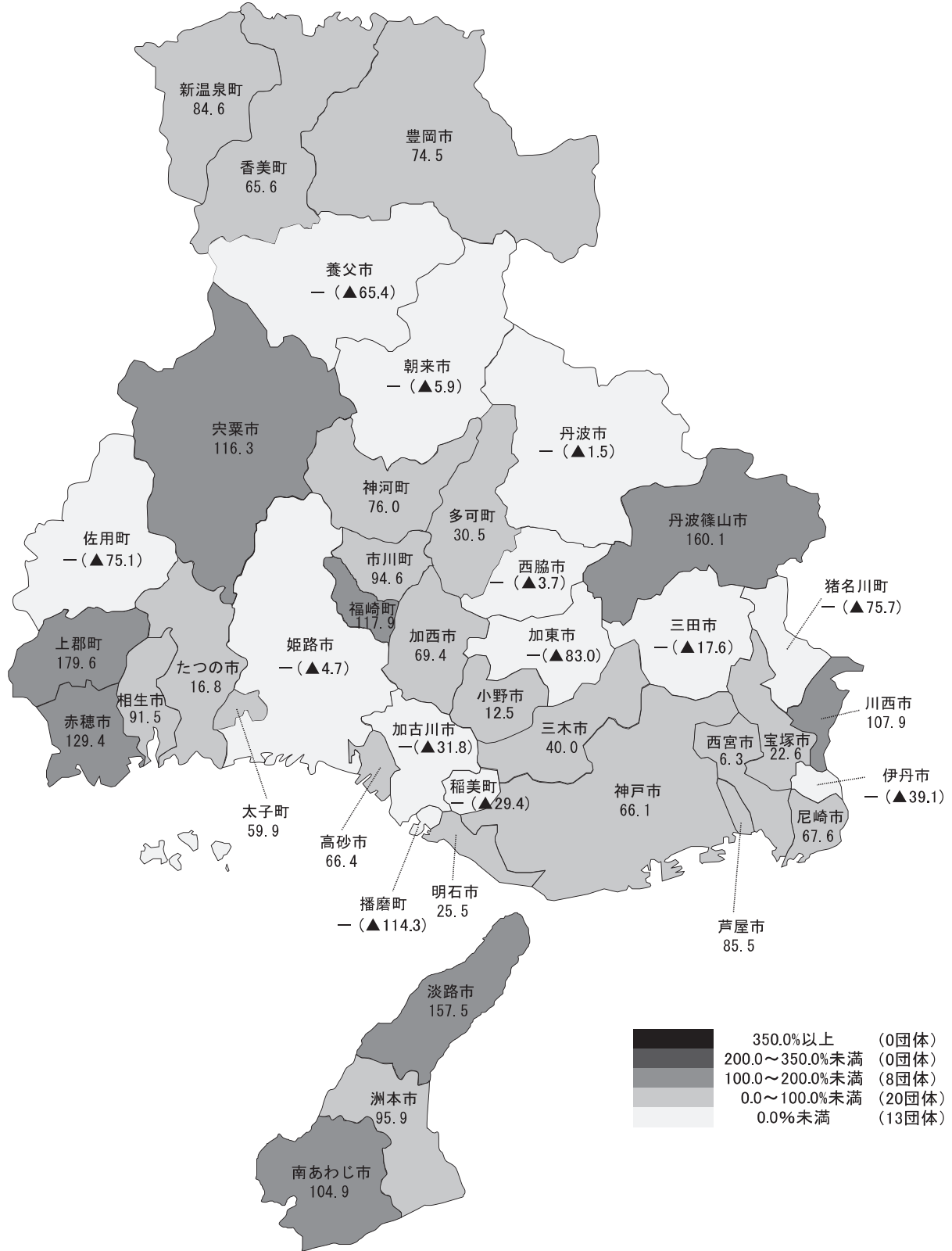
■前年度から比率が減少したのは25団体、比率が増加したのは13団体、3団体が増減なし。
 ■最も減少したのは、市では高砂市(▲2.0)、町では佐用町(▲1.8)。
 ■最も増加したのは、市では豊岡市(+1.0)、町では猪名川町(+0.7)。



令和元年度兵庫県内各市町の将来負担比率の状況

○令和元年度将来負担比率の県内市町平均は41.5%（H30全国平均は28.9%）。

○将来負担比率が350%以上（早期健全化団体）※1の団体はない。0.0%未満の団体は加東市、播磨町など13市町。



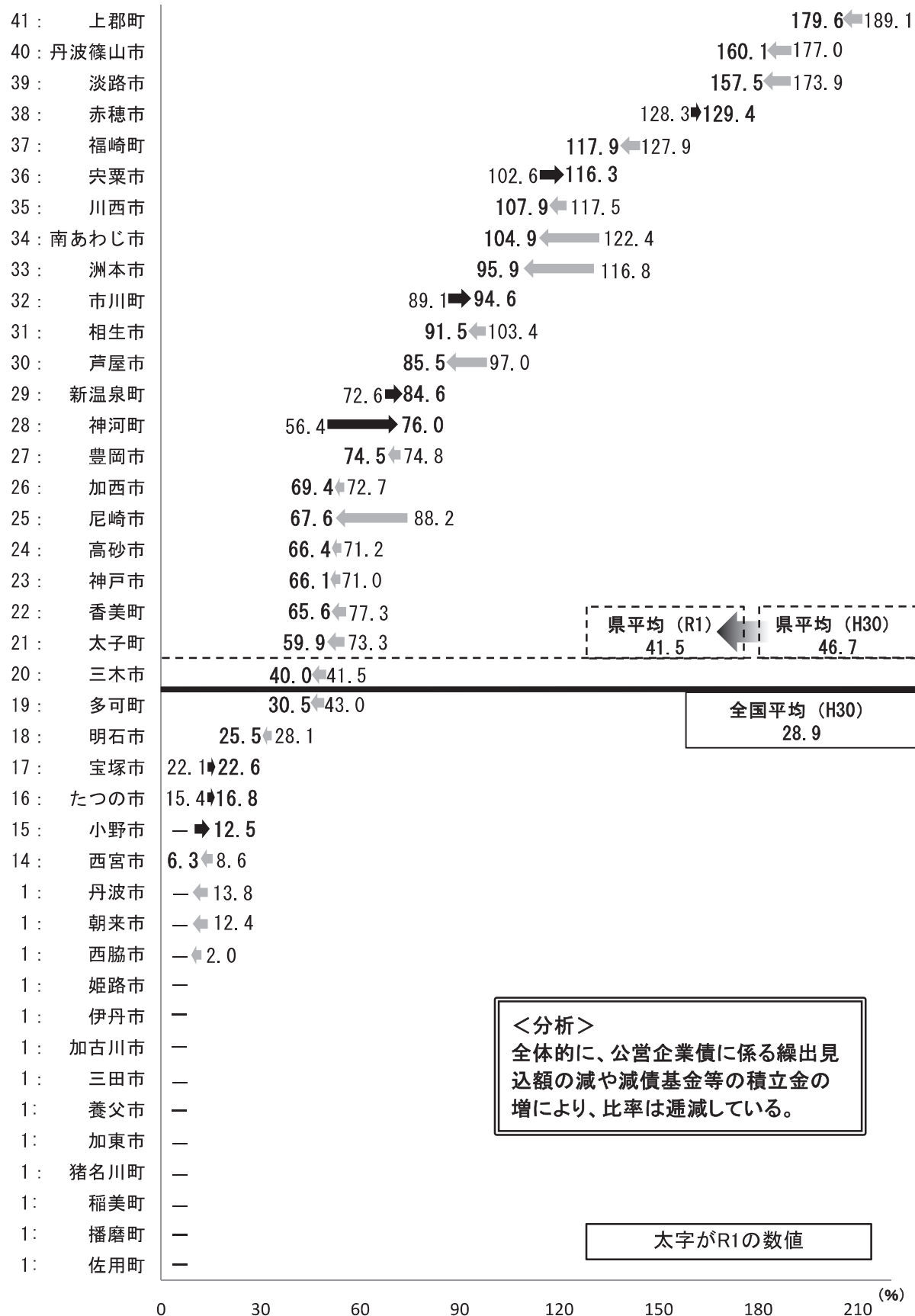
※1 将来負担比率が350%以上（政令市においては400%以上）の地方公共団体は、早期健全化団体となり、財政健全化計画を定めなければならない。

※2 将来負担比率について、公債費充当可能財源等が将来負担額を上回るため比率が算定されない団体は、「—」で表示。（括弧書きで、公債費充当可能財源等の超過率を参考表示。）

将来負担比率の対前年度比較

【資料6】

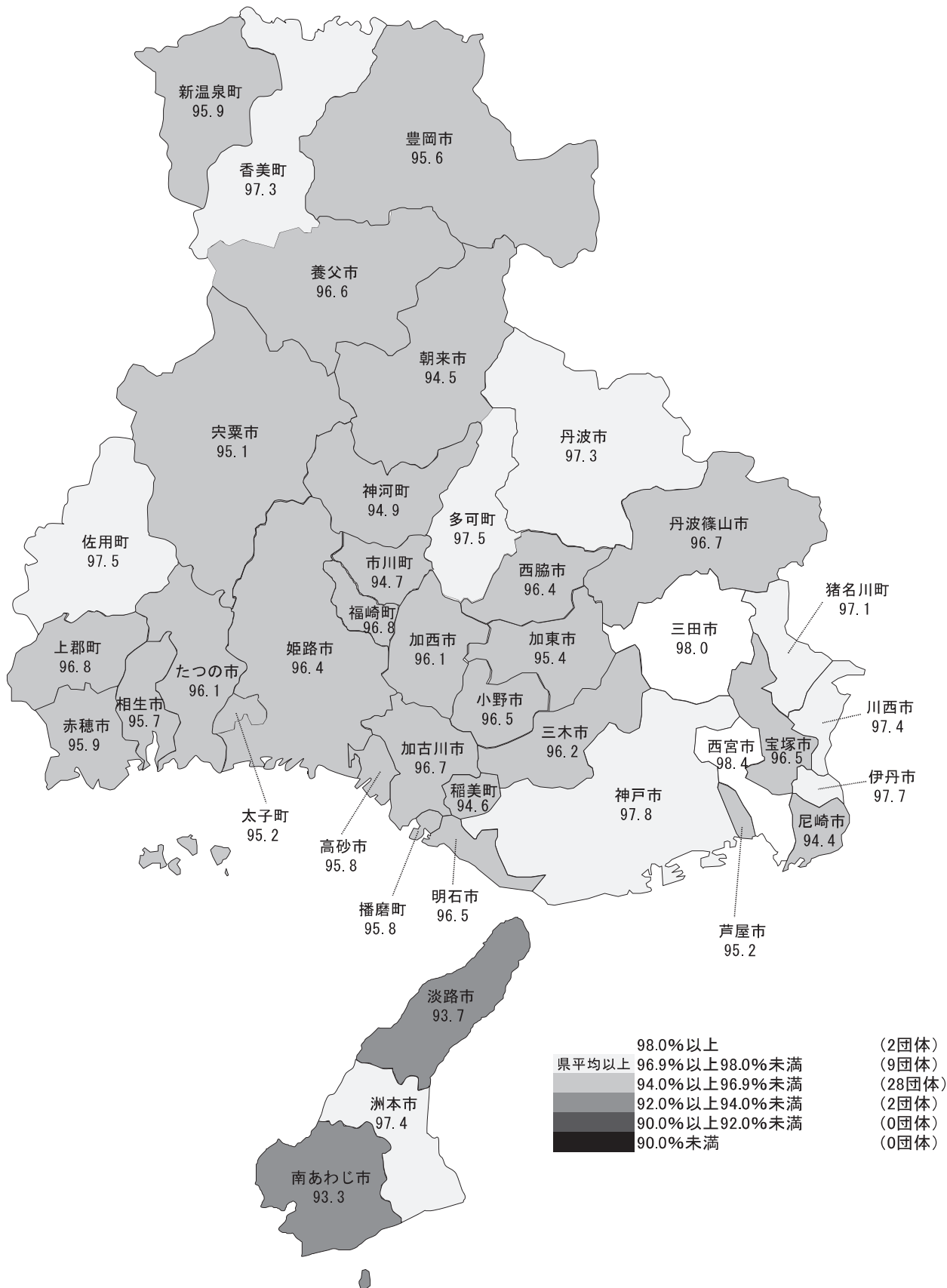
■前年度から比率が減少したのは23団体、比率が増加したのは8団体。
 ■最も減少したのは、市では洲本市(▲20.9)、町では太子町(▲13.4)。
 ■最も増加したのは、市では小野市(+45.4)、町では神河町(+19.6)。



<分析>
 全体的に、公営企業債に係る繰出見込額の減や減債基金等の積立金の増により、比率は逡減している。

令和元年度兵庫県内各市町の徴収率(個人住民税)の状況

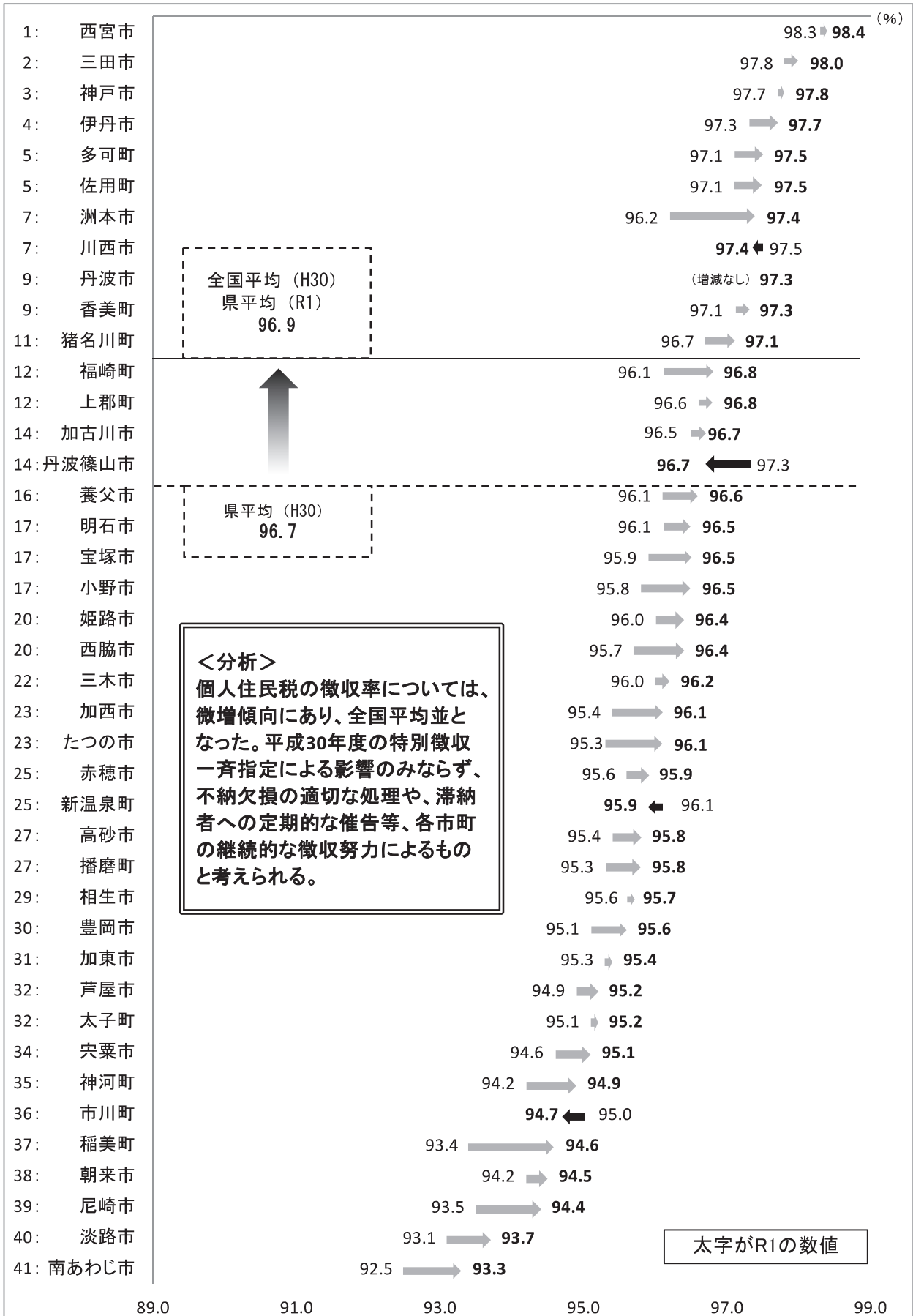
- 徴収率の県平均は96.9%(H30県平均96.7%)
- 徴収率が最も高い団体は、市では西宮市(98.4%)、町では多可町、佐用町(97.5%)
- 徴収率が最も低い団体は、市では南あわじ市(93.3%)、町では稲美町(94.6%)



徴収率（個人住民税）の対前年度比較

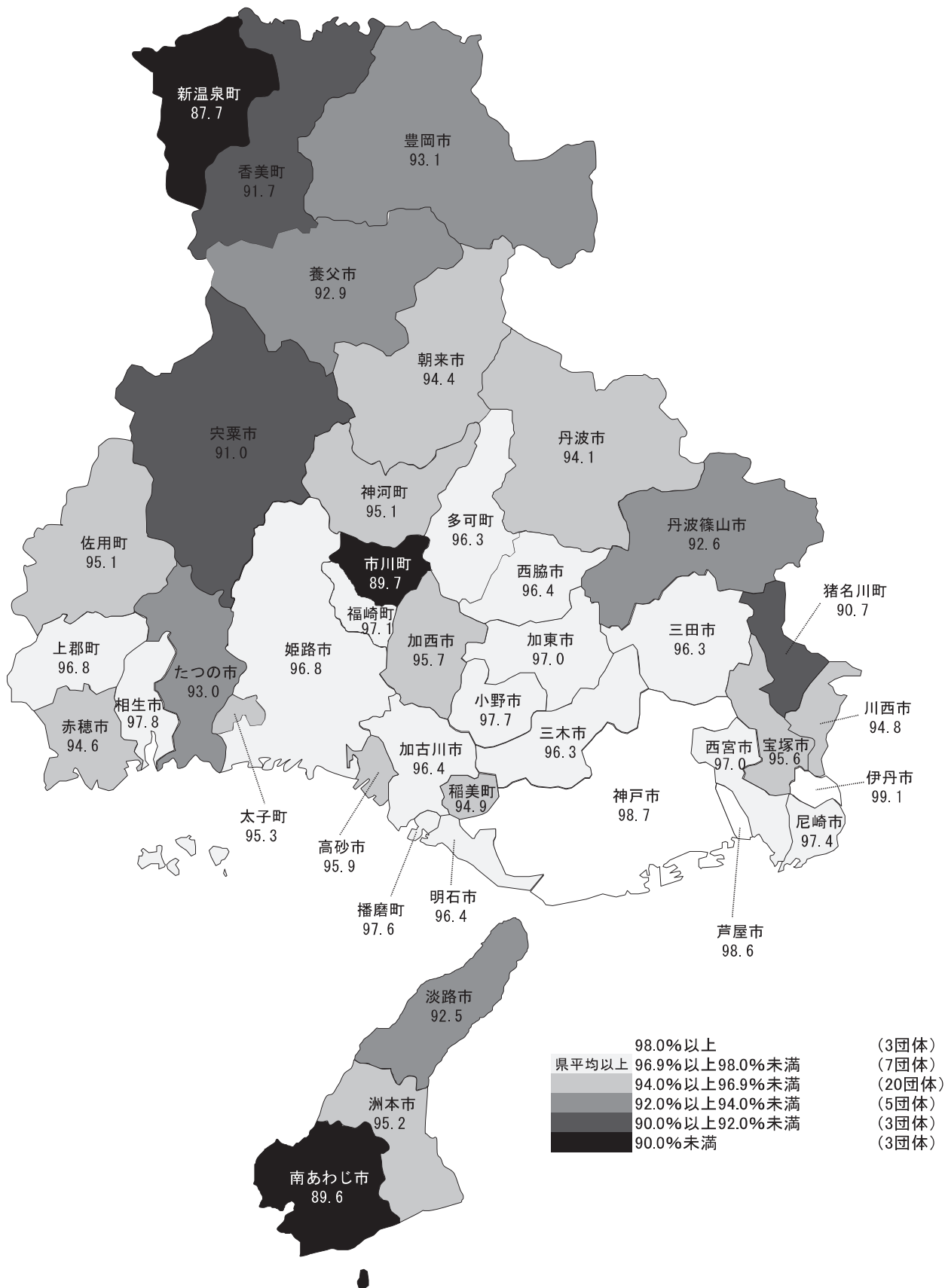
【資料8】

■前年度から徴収率が減少したのは4団体、増加したのは36団体。
 ■最も増加したのは洲本市、稲美町(1.2%)最も減少したのは丹波篠山市(▲0.6%)



令和元年度兵庫県内各市町の徴収率(固定資産税)の状況

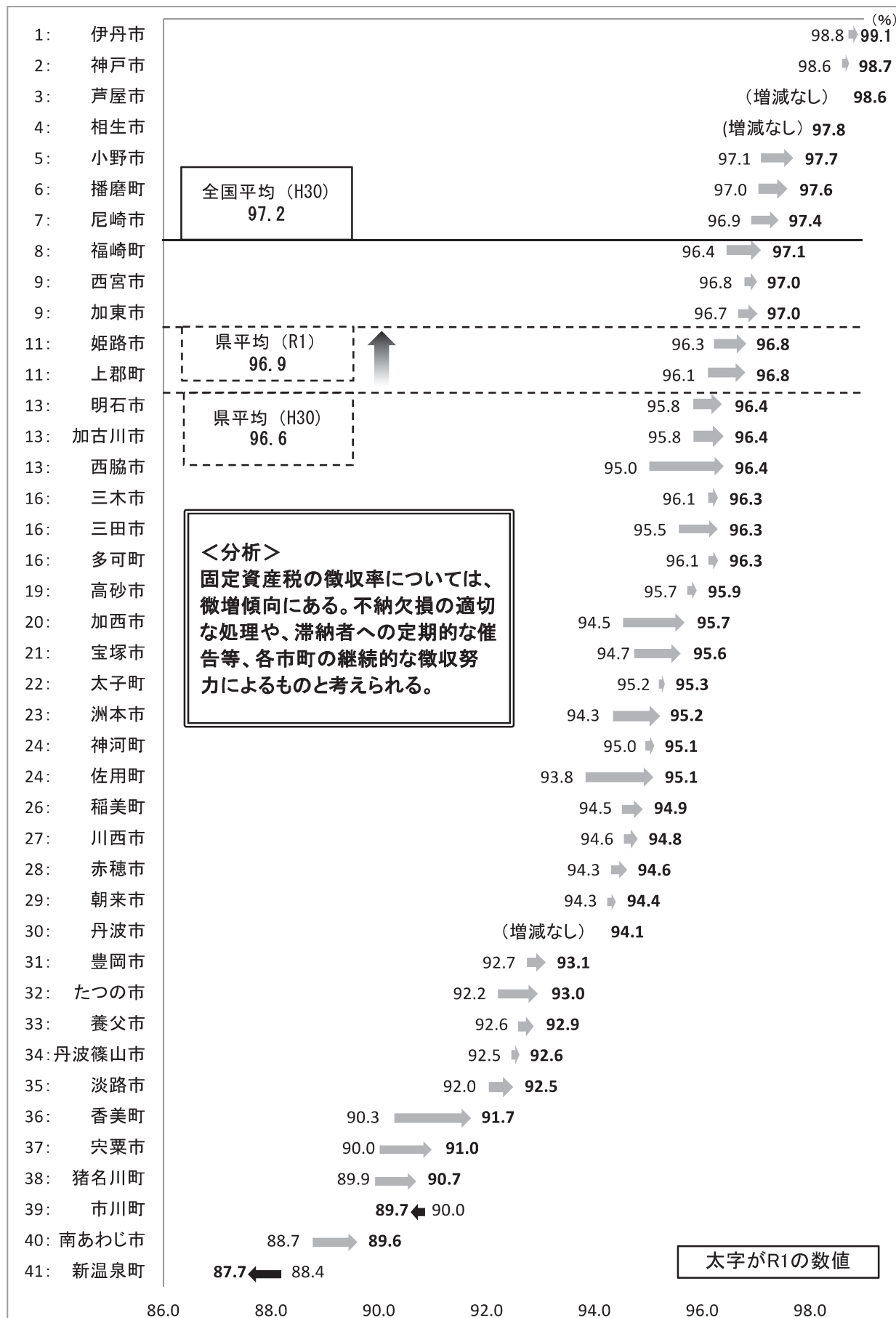
- 徴収率の県平均は96.9%(H30県平均96.6%)
- 徴収率が最も高い団体は、市では伊丹市(99.1%)、町では播磨町(97.6%)
- 徴収率が最も低い団体は、市では南あわじ市(89.6%)、町では新温泉町(87.7%)



徴収率（固定資産税）の対前年度比較

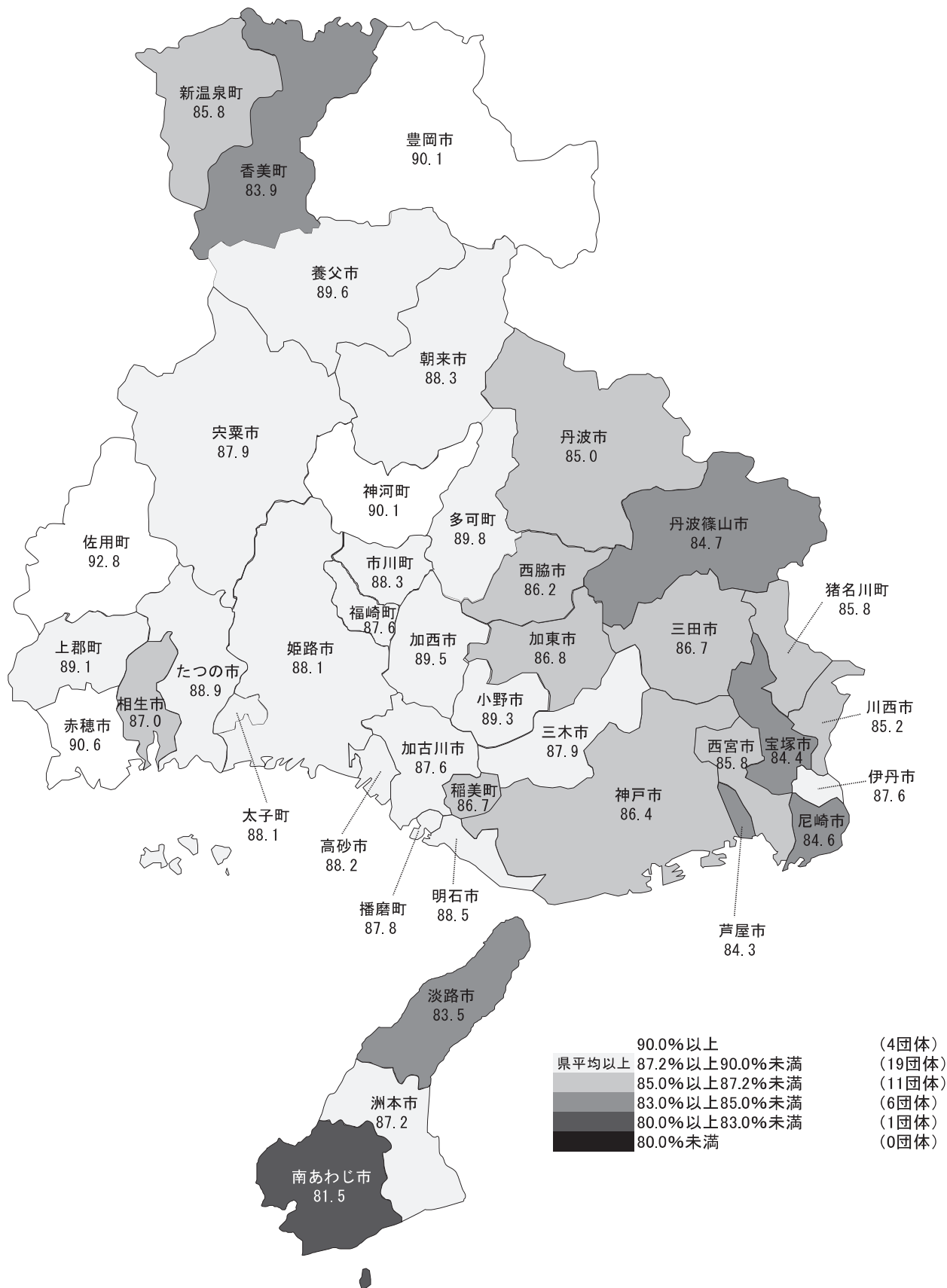
【資料 10】

■前年度から徴収率が減少したのは2団体、増加したのは36団体。
 ■最も増加したのは西脇市（1.4%）最も減少したのは新温泉町（▲0.7%）



令和元年度兵庫県内各市町の特別徴収実施率の状況

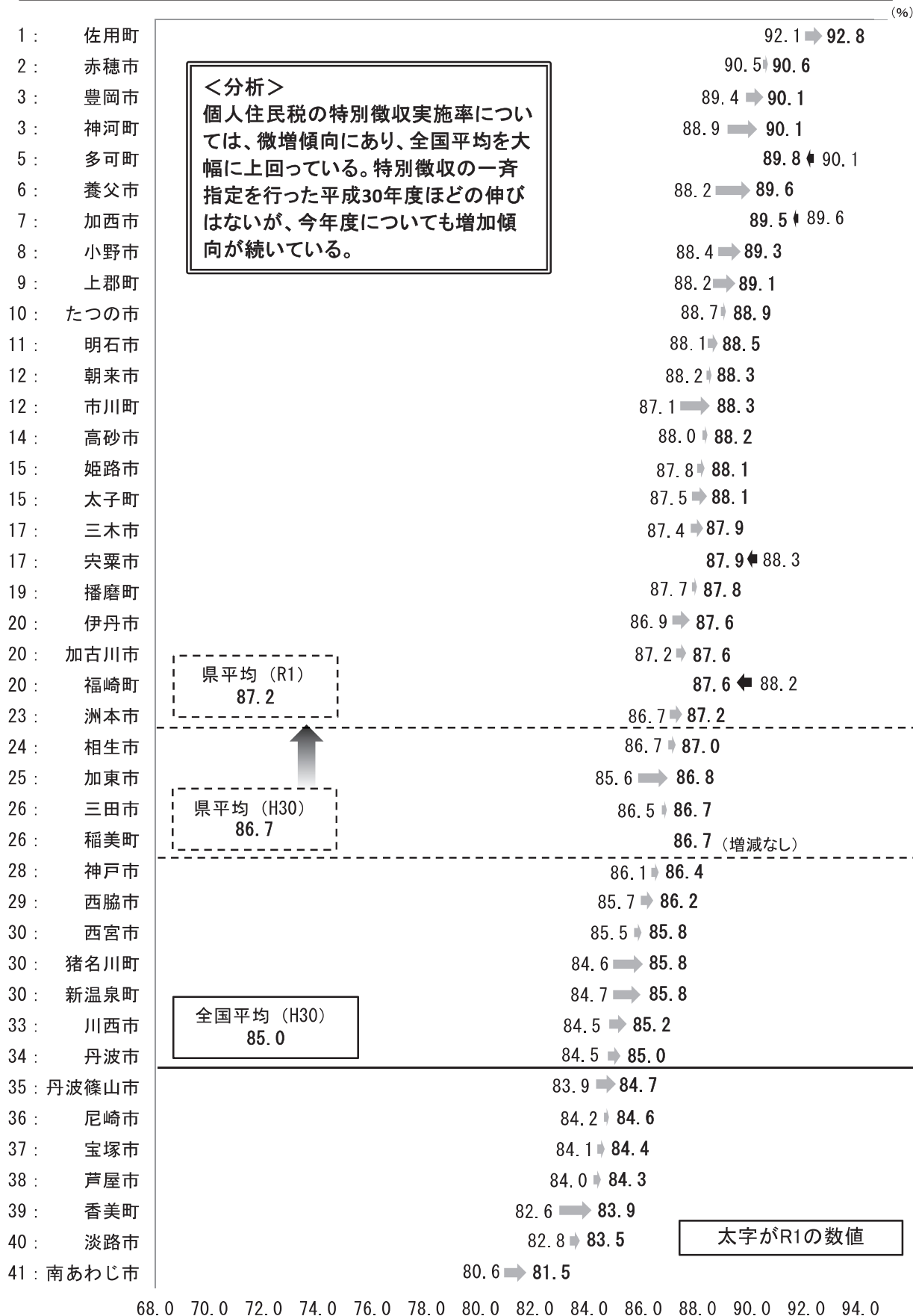
- 特別徴収実施率の県平均は87.2%
- 特別徴収実施率の最も高い団体は、市では赤穂市(90.6%)、町では佐用町(92.8%)
- 特別徴収実施率の最も低い団体は市では南あわじ市(81.5%)、町では香美町(83.9%)



特別徴収実施率の対前年度比較

【資料 12】

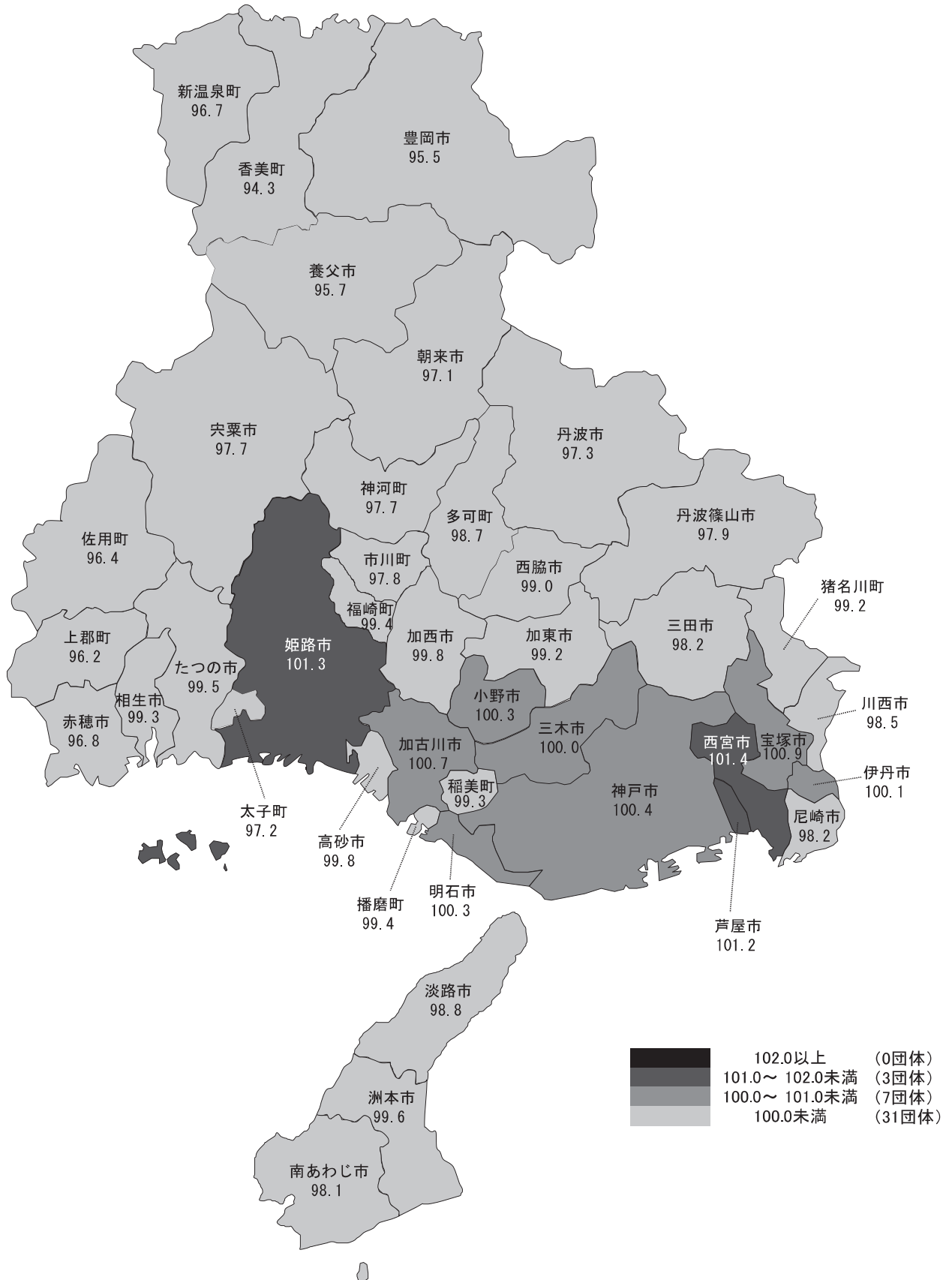
- 前年度からの比率は36団体で増加した。
- 最も増加したのは養父市(1.4%)。



※特別徴収実施率＝給与所得者のうちの特別徴収で納付している人数／給与所得者の納税義務者数

令和2年兵庫県内各市町のラスパイレス指数の状況(R2.4.1)

- ラスパイレス指数※が100.0以上の団体は、西宮市(101.4)、姫路市(101.3)など10市町。
- ラスパイレス指数が100.0未満の団体は香美町(94.3)など31市町。



※ ラスパイレス指数：国家公務員一般行政職の俸給月額を100とした場合の地方公務員一般行政職の給与水準

令和2年ラスパイレス指数の対前年比較

【参考資料②】

